



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社

コード番号 8098 URL <https://www.inabata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経営管理室長 (氏名) 久保井 伸和 TEL 03-3639-6421

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	153,461	△3.0	3,507	0.6	4,377	15.3	3,054	△17.5
2019年3月期第1四半期	158,248	6.4	3,488	56.0	3,795	33.8	3,700	25.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △9,333百万円 (ー%) 2019年3月期第1四半期 12,491百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	50.48	ー
2019年3月期第1四半期	60.57	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	345,442	153,404	43.9
2019年3月期	366,514	164,697	44.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 151,801百万円 2019年3月期 162,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	20.00	ー	28.00	48.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期(予想)		20.00	ー	28.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	330,000	2.3	7,200	1.3	7,200	0.6	5,400	△13.6	89.26
通期	670,000	5.6	14,500	3.3	14,500	1.3	11,000	△14.7	181.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	63,499,227株	2019年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,002,502株	2019年3月期	3,002,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	60,496,725株	2019年3月期1Q	61,096,810株

(注) 当社は、前第2四半期連結会計期間より「株式給付信託（BBT）」を導入しております。当該信託が保有する当社株式は「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」の計算において控除する自己株式数に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、通商問題の動向による影響が懸念される中、米国では、着実に景気回復が続きました。欧州では、ドイツにおいて一部に弱さがみられるものの、ユーロ圏全体では景気が緩やかに回復しました。アジアでは、中国において景気が緩やかに減速しましたが、インドネシアやタイなど新興国では、緩やかな景気回復が続きました。

一方、日本経済は、緩やかに景気回復が続きましたが、企業の輸出や生産に弱さもみられ、不透明感が高まりつつあります。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、153,461百万円（対前年同期比3.0%減）となりました。利益面では、営業利益3,507百万円（同0.6%増）、経常利益4,377百万円（同15.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,054百万円（同17.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期連結累計期間比較については、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

《情報電子事業》

情報電子事業は、主要な商材の販売順調により、売上が増加しました。

液晶関連では、偏光板の販売が中国において伸長しました。偏光板原料の販売は好調でした。

インクジェットプリンター関連では、コンシューマー分野での部品販売が低調でしたが、産業用分野では海外での新規材料販売が好調に推移し、全体として販売が伸長しました。

複写機関連では、国内主要顧客向けの材料販売が減少し、全体として低調でした。

太陽電池関連は、システム販売の遅れや中国での材料販売減少により低調でした。二次電池関連では、材料の販売が伸長しました。

半導体関連では、材料・装置ともに販売が低調でした。

これらの結果、売上高は55,002百万円（同6.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,187百万円（同25.6%増）となりました。

《化学品事業》

化学品事業は、総じて販売が低調に推移し、売上が減少しました。

樹脂原料・添加剤や自動車部品業界向け原料の販売は、中国での自動車生産台数減少の影響もあり低調でした。

塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、国内において堅調に推移したものの、中国では低調でした。

製紙業界向け薬剤の販売は、減少しました。

建築資材関連は、住宅着工の減少もあり低調でした。

これらの結果、売上高は18,176百万円（同7.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は357百万円（同13.6%減）となりました。

《生活産業事業》

生活産業事業は、食品関連、ライフサイエンス関連共に低調で、売上が減少しました。

ライフサイエンス関連では、高利益率の医薬品原料の販売が減少しました。中国では医薬中間体原料の販売が環境規制の影響もあり低調でした。

ホームプロダクツ分野は、日用品原料やドリンク剤原料の販売が堅調でした。

食品関連では、輸入水産加工品の販売が低調でした。米国ではサーモンの販売が減少しました。国内では魚のスライス加工品の販売が伸長しました。農産品では、ブルーベリーの販売が低調でした。

これらの結果、売上高は9,498百万円（同9.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は394百万円（同15.1%減）となりました。

《合成樹脂事業》

合成樹脂事業は、自動車関連が堅調でしたが、それ以外が低調に推移し、売上が減少しました。

汎用樹脂関連では、自動車向けゴム、食品、日用品、化粧品向けの樹脂の販売が低調でした。建材・電線関連の販売は横ばいでした。

高機能樹脂関連では、自動車向けの樹脂の販売は、国内や海外での日系向けが堅調でした。アジアでは、OA関連や電気関連向けの販売が低調でした。

コンパウンド事業では、メキシコ拠点が改善は進むものの、利益面で苦戦しました。

フィルム関連では、コンビニ向けや飲料用の包材の販売が横ばいでした。

シート関連では、工業部材用原料の販売が減少しました。

スポーツ資材関連では、グリップテープの販売が海外で好調でした。

これらの結果、売上高は70,739百万円(同7.7%減)となり、セグメント利益(営業利益)は1,534百万円(同6.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて21,072百万円減少(対前期末比5.7%減)し、345,442百万円となりました。

流動資産の減少6,063百万円は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びにその他が減少したこと等によるものであります。

固定資産の減少15,008百万円は、主に投資有価証券が時価の下落に伴い減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて9,779百万円減少(同4.8%減)し、192,038百万円となりました。

流動負債の減少5,726百万円は、主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したこと等によるものであります。

固定負債の減少4,052百万円は、主にその他が減少したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて11,293百万円減少(同6.9%減)し、153,404百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は43.9%(前連結会計年度末より0.5ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,909	23,481
受取手形及び売掛金	163,963	163,431
商品及び製品	52,842	52,288
仕掛品	735	693
原材料及び貯蔵品	3,906	3,703
その他	9,087	7,529
貸倒引当金	△877	△624
流動資産合計	256,567	250,503
固定資産		
有形固定資産	13,473	14,314
無形固定資産	3,223	3,271
投資その他の資産		
投資有価証券	86,393	70,540
退職給付に係る資産	2,893	2,919
その他	11,632	11,629
貸倒引当金	△7,669	△7,737
投資その他の資産合計	93,250	77,352
固定資産合計	109,947	94,938
資産合計	366,514	345,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,778	107,817
短期借入金	43,619	41,024
未払法人税等	2,271	1,181
賞与引当金	1,245	768
その他	7,704	8,099
流動負債合計	164,618	158,891
固定負債		
長期借入金	13,658	13,555
役員退職慰労引当金	30	28
役員株式給付引当金	37	48
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	1,794	1,838
その他	21,658	17,657
固定負債合計	37,198	33,146
負債合計	201,817	192,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,752	7,752
利益剰余金	97,882	99,050
自己株式	△3,729	△3,729
株主資本合計	111,269	112,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,827	37,879
繰延ヘッジ損益	△93	△107
為替換算調整勘定	3,247	1,816
退職給付に係る調整累計額	△277	△224
その他の包括利益累計額合計	51,703	39,363
非支配株主持分	1,723	1,602
純資産合計	164,697	153,404
負債純資産合計	366,514	345,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	158,248	153,461
売上原価	146,499	141,802
売上総利益	11,748	11,658
販売費及び一般管理費	8,259	8,151
営業利益	3,488	3,507
営業外収益		
受取利息	50	49
受取配当金	969	1,086
持分法による投資利益	—	102
雑収入	245	214
営業外収益合計	1,264	1,452
営業外費用		
支払利息	462	385
為替差損	191	116
デリバティブ評価損	4	—
持分法による投資損失	6	—
雑損失	292	80
営業外費用合計	957	582
経常利益	3,795	4,377
特別利益		
投資有価証券売却益	1,668	—
特別利益合計	1,668	—
税金等調整前四半期純利益	5,463	4,377
法人税、住民税及び事業税	1,428	1,032
法人税等調整額	222	177
法人税等合計	1,650	1,209
四半期純利益	3,812	3,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,700	3,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,812	3,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,445	△11,098
繰延ヘッジ損益	43	△14
為替換算調整勘定	183	△1,458
退職給付に係る調整額	17	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	16
その他の包括利益合計	8,678	△12,501
四半期包括利益	12,491	△9,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,317	△9,414
非支配株主に係る四半期包括利益	174	81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、前第2四半期連結会計期間より、当社取締役(社外取締役を除く)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットだけでなく、株価下落リスクも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第1四半期連結会計期間末164百万円、100,000株であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	51,466	19,588	10,497	76,654	158,205	42	158,248	-	158,248
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	51,466	19,588	10,497	76,654	158,205	42	158,248	-	158,248
セグメント利益	945	413	464	1,631	3,455	33	3,488	-	3,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	55,002	18,176	9,498	70,739	153,417	44	153,461	-	153,461
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	55,002	18,176	9,498	70,739	153,417	44	153,461	-	153,461
セグメント利益	1,187	357	394	1,534	3,473	34	3,507	-	3,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、共通する商材の販売の効率化などを進め、収益力の向上を図るため、組織変更を行いました。これに伴い、管理区分の見直しを行い、「住環境事業」を「化学品事業」に統合いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。